

ふくおかの水環境保全や持続可能なまちづくりにつながる活動を通じ、

私たち
福岡県
浄化槽
協会

SDGsの達成に 貢献していきます!

SDGsとは

持続可能な開発目標「Sustainable Development Goals」のことで、「人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標」です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。世界各地や日本において、政府、自治体、企業やNPOなど様々な主体がSDGsの実現に向けた取組を開始しています。



SDGs THE 17 GOALS

福岡県浄化槽協会とSDGs

福岡県浄化槽協会は環境省が推奨する「エコアクション21」を活用し、環境に配慮した事業経営に取り組んでいます。2020年度からは、国連が掲げたSDGsの活動にも取り組み始めました。外部講師による研修会を行い、知識を深めながら活動を行いました。その成果が認められ、2021年度には、環境経営レポート大賞・九州「SDGs賞」を受賞しました。

当協会のSDGs活動の活動方針

- 1 職員研修の実施と対外的な場での「SDGs」バッジ着用
- 2 SDGsを念頭に置いた事業目標の設定と事業展開による社会貢献
- 3 職員の意識改革と働き甲斐のある職場づくり



2021年度環境経営レポート大賞・九州「SDGs賞」受賞

協会の主な活動とSDGs

協会の主な活動とSDGsが掲げる目標がどのようにつながるかについてご紹介します。職員にアンケートを実施しSDGsと事業活動のつながりについて、職員ひとりひとりが考えました。

1. 浄化槽法に基づく検査

浄化槽法に基づく福岡県知事の指定検査機関として北九州市・大牟田市を除く県内で、浄化槽の設置場所での検査や放流水の水質検査等を実施しています。



4. 事業活動に伴う環境負荷の低減

環境省が推奨する環境経営システム「エコアクション21」を活用して、環境負荷や主要事業に関する目標を設定し、進捗管理を行っています。



2. 調査研究や研修等を通じた社会ニーズに応える技術の提供

浄化槽の検査から得られた知見をもとに、調査研究や研修等を通じ、関係業界等の皆様に対する技術支援等を行っています。



5. 地球温暖化対策など地球環境問題への貢献

環境省では、既設の中・大型合併処理浄化槽を対象に、最新型の高効率機器への改修や省エネ型浄化槽への交換、再生可能エネルギー設備を導入する事業者や地方公共団体等に対する補助制度を設けており、当協会は交付申請書の受付窓口となっています。



3. 浄化槽の普及啓発 適正管理・浄化槽の整備促進

小学生を対象とした出前講座やじょうかそうポスターコンクール、各自治体が開催する環境フェアや浄化槽適正管理推進キャンペーン、列車やバスの車体を活用した広告、福岡県による動画作成への協力など、様々な手法や場面を活用して、普及啓発活動を行っています。



6. 未来につながる組織運営と地域貢献活動

- 「子育て応援宣言」「ふくおか健康づくり事業所宣言」「飲酒運転撲滅宣言企業」「出会い・結婚応援事業」など、県が推奨している各種宣言・登録事業への参加を通じて、未来につながる組織運営に取り組んでいます。
- 事務局や各検査センター周辺道路の清掃など地域貢献活動に取り組んでいます。

